



Sekishou 通信



R7・2・7
NO. 27
文責：校長 酒井



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子

福は内、鬼も内。（持続可能!?セルフ豆まき）

ふくは～うち、おには～そと。

恒例の豆まき集会、今年は2月2日が節分でしたので、石小では1日遅れの実施となりましたが、廊下を歩くとどのクラスからも威勢のいい掛け声が聞こえてきました。会を進めるのは、ほとんどが年男年女の5年生です。各クラスに入って進行役を務めます。

それでは、自分の作った鬼に向かって、元気よく豆を投げてください。

投げるときには、鬼は外、福は内と大きい声をかけてください。

教室で十分リハーサルを積んだのでしょう、スムーズな説明と共にいよいよ豆まきが始まりました。しかし、何やらいつものとは様子が違います。子ども達は黒板に貼った鬼の顔目がけて豆をぶつけながら叫んでいます。よく見ると豆は新聞紙を小さく丸めたものです。

感染症の流行や衛生上の問題もあり従来のような豆まきが出来なくなりました。行事そのものを実施しない学校も少なくありません。本校でもこの時期に毎年のように話題となります。昼休みを利用しての集会ですので、時間も限られますし前出の衛生上の問題もあります。そこで担当者と子ども達が苦心して考え出したのが、セルフ豆まき！

黒板には、自分の追い出したい鬼と顔と理由が添えられています。その鬼に向かって各自が用意したお手製の豆を思いっきり投げつけるという全く新しいタイプの豆まきです。考えてみればなかなかの妙案、心の鬼を自分でやっつける！これほど理にかなった豆まきはありません。差し詰め今年の豆まきは「福は内、鬼も内」といったところでしょうか。

おそらくは豆まきに前後して、各クラスで自分の追い出したい鬼の発表もあったことでしょう。わずかに15分弱の集会でしたが、オープニングには係りの児童から全校生に節分のいわれについての説明（映像）もありました。今風にいえば、「持続可能な豆まき集会」というところでしょうか。

会の終盤に校長室に駆けつけた5名の年男年女たち、始まったのは全くルール度外視の豆まき合戦。1対5の圧倒的に不利な戦で木つ端微塵にやられましたが、校長室の邪気はきれいさっぱり追い払ってくれました。

お待ちしています。（最後の授業参観・家庭教育学級・学年懇談）

すでにお知らせ済みですが、2月14日（金）は授業参観。寒波が居座っている情報もあり天気が心配です。しかし、最後の参観授業ですので、どの学年もクラスも子ども達一人一人の成長を見ていただける充実した内容を用意しています。授業と懇談会の間には、メディアについての家庭教育学級を準備しました。こちらは保護者のみなさん全員に参加していただきます。（クリスタルホールへご移動ください）

石小では、これまでスマホやオンラインゲームは小学生には必要のないものとして指導してきました。しかし、高学年を中心に対応率は増え、年齢制限のあるはずのオンラインゲームは無法地帯！？それらに伴ったトラブルは絶えません。家庭の問題だから関知しないというスタンスをとっている学校も多いのですが、本校では学校内の生活や学習にも大きく影響するため、一人一人に対応しています。

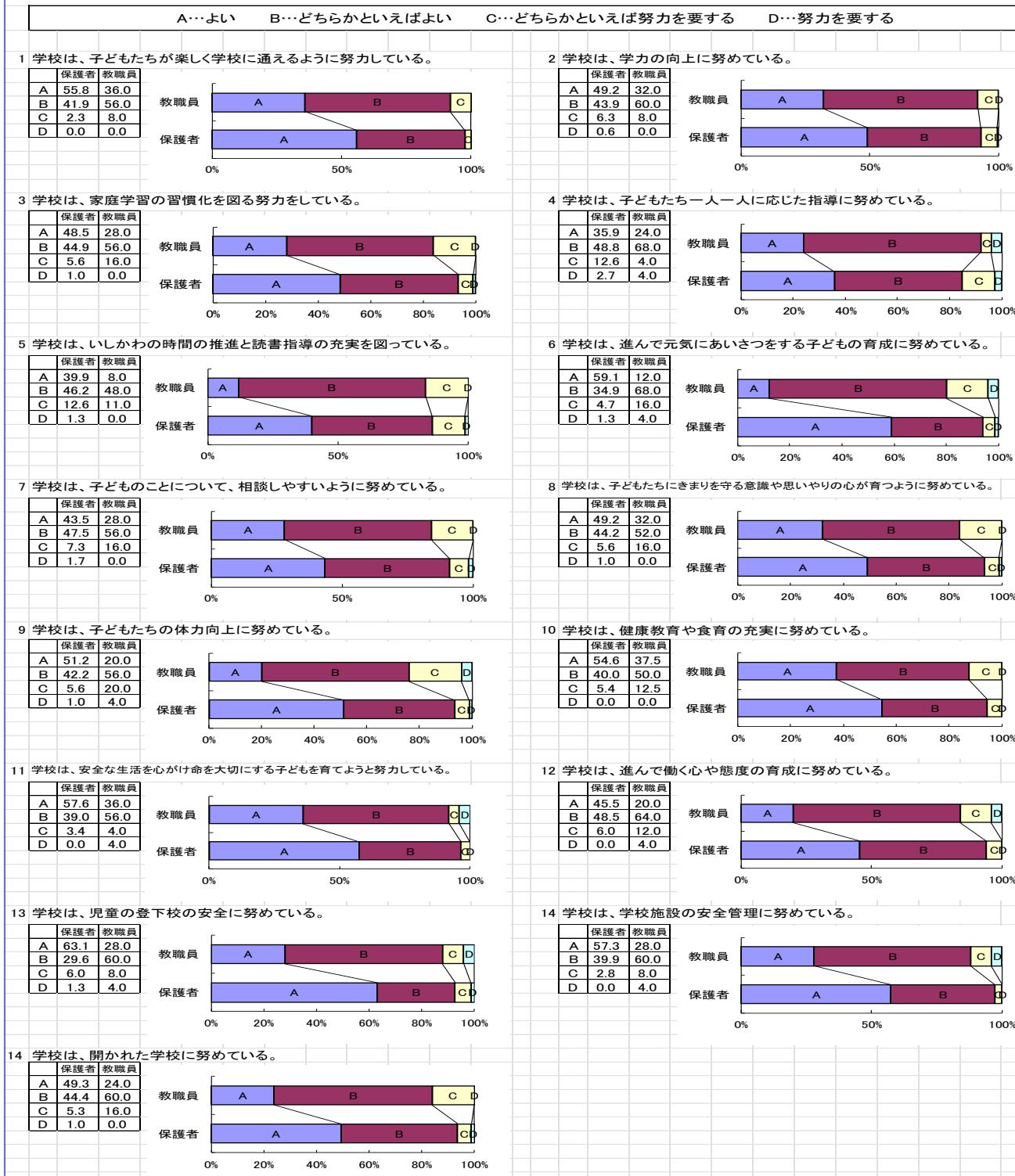
今回はメディアの使用について医学的な見地から講話いただく機会となります。4～6年生児童も全員が参加します。

なお、1～3年生は各教室にて郷土カルタ取り大会を実施します。こちらは後程HPで紹介します。



学校教育に関するアンケート結果

【 保護者回答率 96.3% 教職員回答率 100% : 数字は、各設問の回答総数に対する選択数の割合(%) 】



年末にご協力をお願いしました学校教育に関するアンケートですが、保護者の皆様からは96%の回答をいただきました。お忙しい中でのご協力感謝いたします。結果は上記の通りですが、教職員との評価にギャップも見られますので、考察を加え改善できるものについてはすぐに対応し、今後にかしていきます。保護者の皆様には引き続きのご協力をお願いします。ありがとうございました。